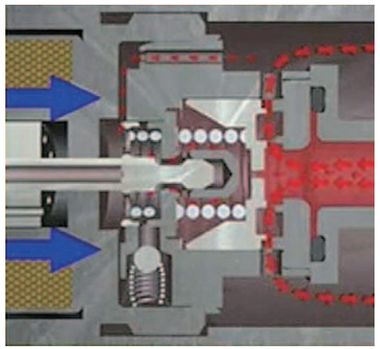
独自のノウハウによって ハイクオリティを実現する 「モンローマジック」

モンローCVSAと純正部品の違い

1	プライス	純正部品と同品質ながらも、純正価格より約24%も低価格に設定。ボルボ用（2014年データ）では純正51万円に対し、モンロー製は39万円となっている。
2	パフォーマンス	純正の市場評価を元にモンロー独自のバルブセッティング「モンローマジック」を施し、車両の潜在能力を最大限に引き出してくれる。
3	プレイス	テネコジャパンが持つ流通ネットワークから、正規ディーラーだけでなく、量販店や整備工場など幅広い場所での購入・取り付けが可能となっている。



ソレノイドバルブで減衰力を制御

毎秒500回もの情報処理によってオイル流量を制御し、最適な減衰力を発揮。電動モーターの制御システムよりも優れたレスポンスを実現。

テネコジャパンの森氏（写真左）と池内氏（写真右）にモンローCVSAの魅力について伺った。

MAKER INFORMATION

テネコジャパン

TEL：045-285-5221

URL：http://www.monroejp.com/

左記のQRコードにアクセスすれば、モンローのホームページにてモンロー CVSAやショックアブソーバの原理が動画でチェックできる。

MONROE CVSA
モンロー 電子制御式ショックアブソーバ

革新的な技術を備えた電子制御式ショックアブソーバ

モンロー・CVSAはショックアブソーバに電子制御装置を備えているのが特徴。取り付けられた電磁弁「ソレノイドバルブ」が毎秒500回もの情報処理を行い、路面状況に応じてリニアに減衰力をコントロール。どんな走行シーンでも卓越したパフォーマンスを発揮してくれる。

■適応車種

≪メルセデス・ベンツ≫ Cクラス（W204/S204 アジリティコントロールサス装着車）
価格 フロント：130,000円（税別）～
リヤ：65,000円（税別）～

≪ボルボ≫ S60/V70/S80/XC70（FOUR-C装着車）
価格 フロント：80,000円（税別）～
リヤ：105,000円（税別）～

■今後のラインアップ予定の車種について

現在の適応車種は上記の車種となっているが、今後のラインアップについては、モンローCVSAを純正（新車）装着する車種が続々とリリースされる予定なので、その交換用ショックアブソーバとして今回のようにアフターマーケットに投入される予定だ。

■リヤ ショックアブソーバ側

■フロント ショックアブソーバ側

減衰力を制御するソレノイドバルブは、今回のボルボ用のフロントはダンパー同軸上に、リヤはダンパー横に取り付けられている。

●高性能ダンパー

ダンパー部分にはモンロー独自のセッティング「モンローマジック」が施された高性能ダンパーを採用。

●純正同形状のカプラー

純正の電子制御式サスペンションと同じカプラー形状なので、車両との接続もカプラーオンでOK。

アップとして加わったのが電子制御式ショックアブソーバ「モンロー CVSA」だ。このショックアブソーバは、走行状況に応じて減衰力を瞬時に無段階制御するシステムを採用しているのが特長で、メルセデスのアジリティ・コントロール・サスペンションや、ボルボのFOUR・Cはこのモンロー CVSAを純正装着しているのだ。そのモンロー CVSAが交換用アフターマーケット製品として今回登場したのである。

モンロー CVSAが備える電子制御システムの特徴は、ソレノイドバルブを使った減衰力制御装置。車両側に設けられたセンサーにより、加速度や変位、操舵を常時モニタリング。そのデータがダンパー側に送られ、ソレノイドバルブが毎秒500回もの情報を処理し、路面に最適な減衰力を無段階に制御を行う。これによりさまざまな路面や走行シーンに対応することが可能となっている。街乗りなどでは路面からの不快な入力（衝撃）をコントロールし、乗り心地の良いフラットライドを実現。ワインディングなどクルマを積極的に曲げたいシーンでは減衰力を高め、シャープなハンドリングとし、そのクルマの走行性能を存分に引き出してくれるのだ。これもソレノイドバルブによる緻密な減衰力制御があってこそ実現できるもの。

もちろん最先端技術の根幹となるダンパー部分には、長年に渡り自動車メーカーへOE供給してきた信頼性と品質、高い技術がフィードバックされているのは言うまでもない。こういった製品づくりができるのもモンローならではだ。モンロー CVSAは〝サルーンの快適性〟と〝スポーツカーのハンドリング性〟といった、相反する個性を両立した革新的なショックアブソーバとなっている。

さらに、ユーザーにとってうれしいのはその価格設定。純正品と同品質でありながら低価格に設定されているのだ。同性能・同品質ならモンロー CVSAを選ばない手はない。

取り付けは、車両とダンパーを繋ぐコネクターを差し替える必要があるだけで、作業自体は一般的なサスペンションと同じ。販売はバルブ単体やダンパー部分だけという設定はない。

現在、モンロー CVSAの適応車種はメルセデスとボルボの純正でモンロー CVSAを装着した車両のみだが、今後もモンロー CVSAを純正装着する車種が続々と登場する見通しなので、その交換用としてアフターマーケットに投入される予定である。

モンローの技術によって相反するふたつの個性を見事に両立

減衰力を電子制御する革新的なシステムでクルマの能力を引き出す

MONROE CVSA

モンロー 電子制御式ショックアブソーバ

長年に渡る高い技術力と信頼性から世界の自動車メーカーに純正採用され、生産数、売上No.1を誇る世界初のショックアブソーバブランド「モンロー」。“スポーツカーのハンドリング性”と“サルーンの快適性”という相対する性能を両立した電子制御式ショックアブソーバをアフターマーケット製品としてラインアップ。

モンローの歴史

1926年	世界初のモンローショックエリミネーター（衝撃除去器）の開発
1929年	最初のダブルアクション式（伸び・縮み）の開発
1980年	最初のストラット式ショック（一体型）の開発

テネコ社は世界24か所、89の生産拠点と技術開発拠点を持ち、各国の自動車メーカーへの純正部品（OE）の供給やアフターマーケット市場でグローバルに事業を展開しているリーディングカンパニーだ。

革新的技術を積極的に活かした新機構のショックアブソーバ

テネコ社は1926年に世界初のショックアブソーバを開発したメーカーで、創業90年近くの長い歴史を持つ。主に吸排気系の「クリーンエアー」製品とショックアブソーバなどの「ライドパフォーマンス」製品の設計および販売を行っている世界的大手サプライヤーだ。2013年のアフターマーケットの販売実績は欧米でナンバーワンとなるなど、テネコ社の製品は高い信頼性と品質から世界中で選ばれている。

そんなテネコ社がショックアブソーバ製品のアフターマーケット用ブランドとしてグローバル展開しているのが「モンロー」ブランド。クルマ好きなら周知のサスペンションブランドで、北米車をはじめ、欧州車や日本車など世界の自動車メーカーで純正採用されているブランドだ。中でも、クルマの走行性能のキモである〝足回り〟のセッティングにこだわった車両に多く採用されているのもモンローの特徴と言えるだろう。

そして先ごろ、モンローのライン